

## 所 管 事 項 調 査 に 関 する 資 料

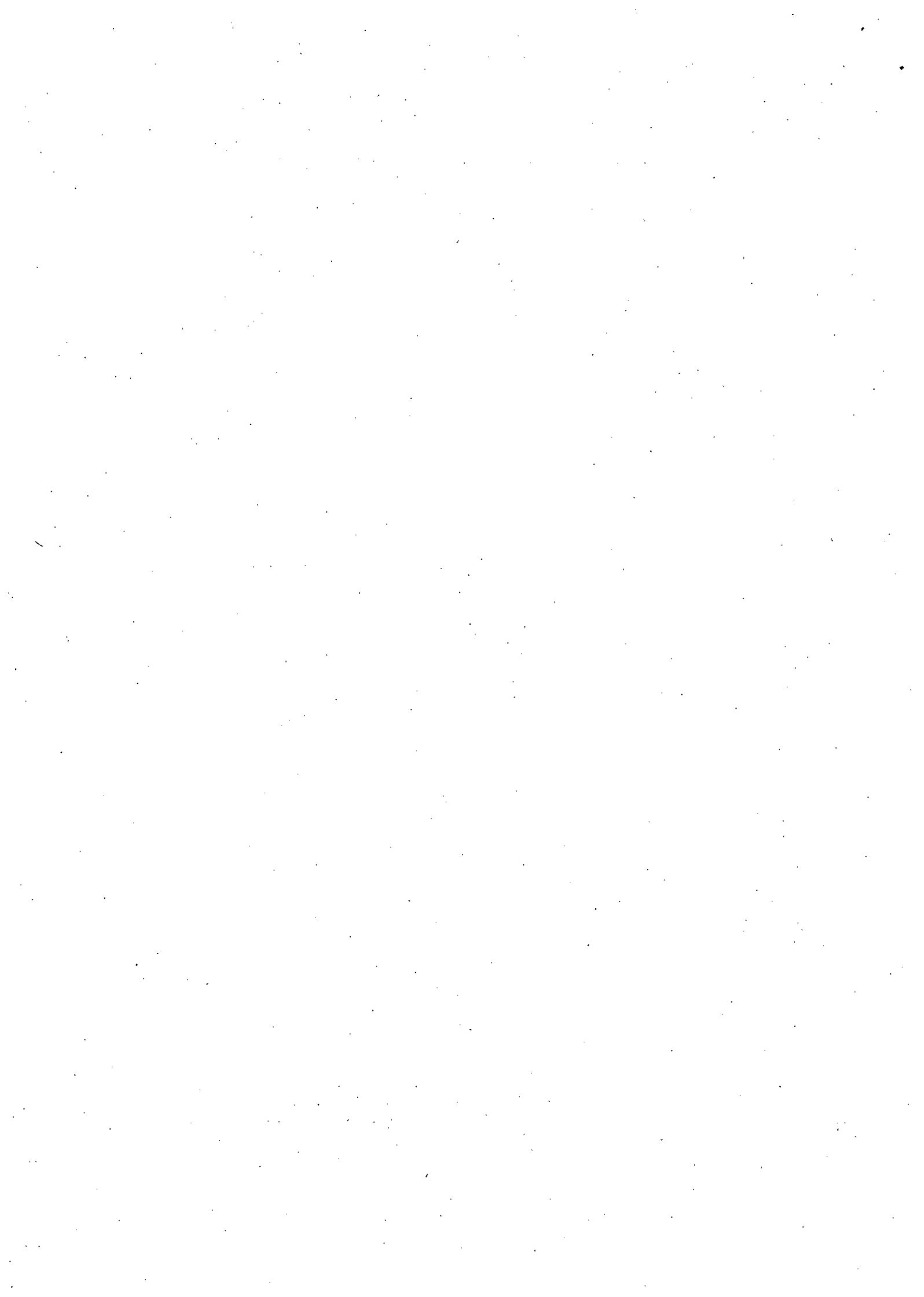
### 目 次

#### 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の検討状況について

1 長崎南北幹線道路 .....	1 ページ
2 西彼杵道路 .....	11 ページ

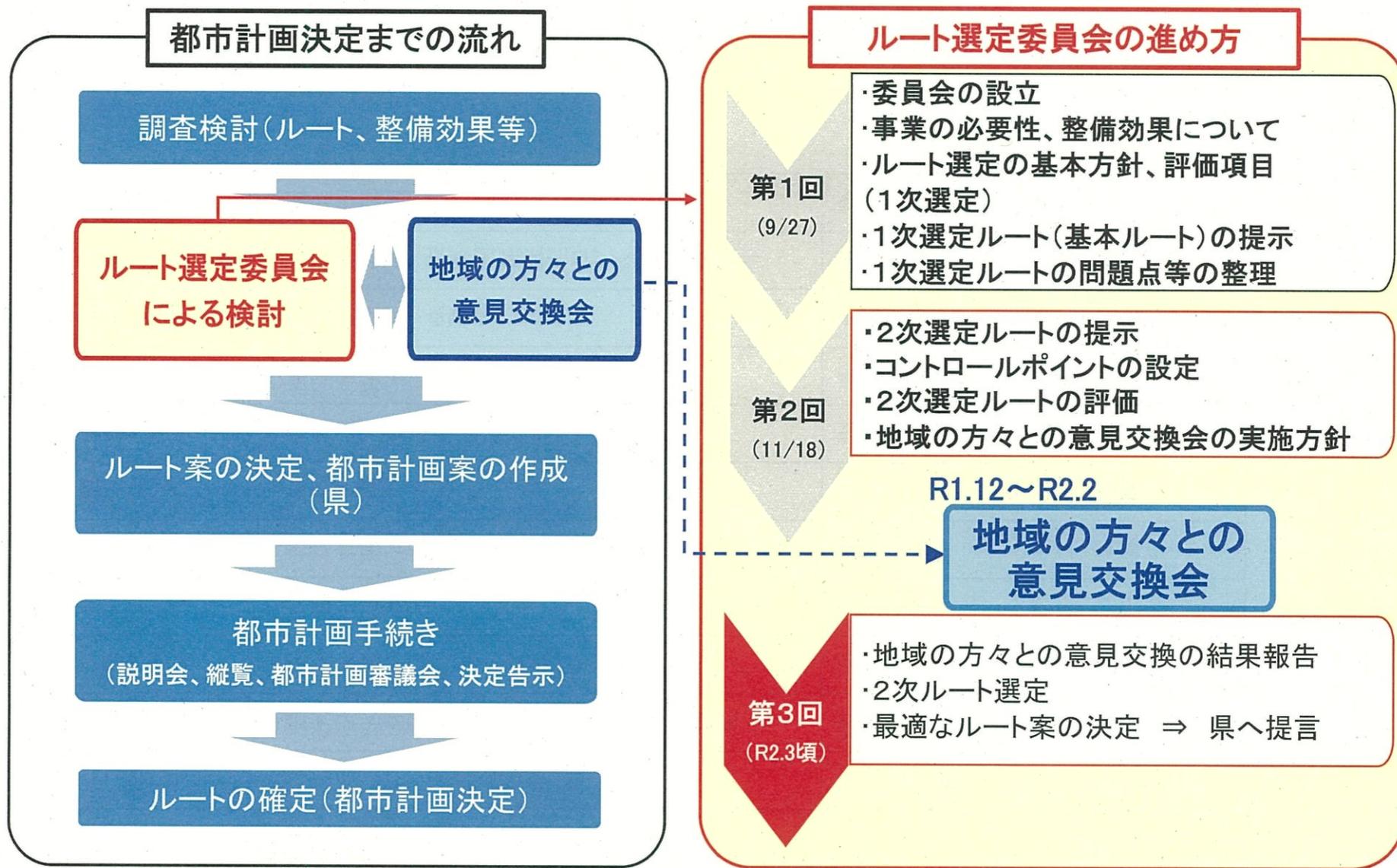
土木部

令和2年2月



# 1. 長崎南北幹線道路

## (1) 長崎南北幹線道路ルート選定委員会のスケジュール



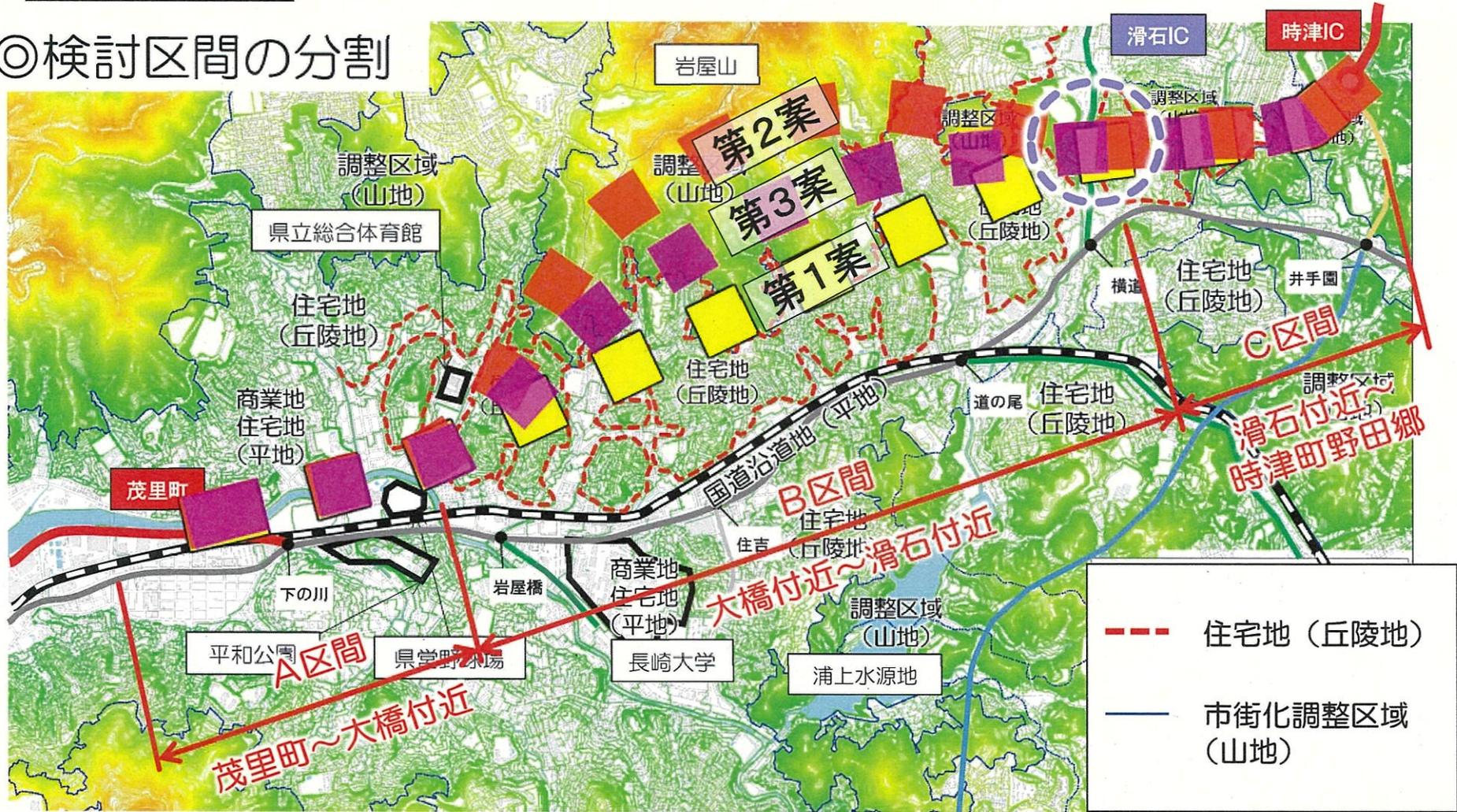
## (2) 委員構成

分野	所属等	役職	氏名
学識経験者	長崎大学大学院工学研究科システム科学部門	教授	中村 聖三
学識経験者	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	准教授	吉田 護
商工・経済	長崎商工会議所	専務理事	松永 安市
商工・経済	長崎経済同友会	事務局長	中村 政博
商工・経済	西そのぎ商工会	会長	川口 義己
運輸・交通	長崎県トラック協会長崎支部	支部長	井石 八千代
運輸・交通	一般社団法人 長崎市タクシー協会	専務理事	船家 和之
運輸・交通	一般社団法人 長崎県バス協会	専務理事	峯 比呂志
観光	一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会	専務理事	浦瀬 徹
救急医療	長崎県医師会	常任理事	瀬戸 牧子



## ② 2次選定

### ◎検討区間の分割



#### 【説明】

- 地形条件違いから、3つの区間に分割
 

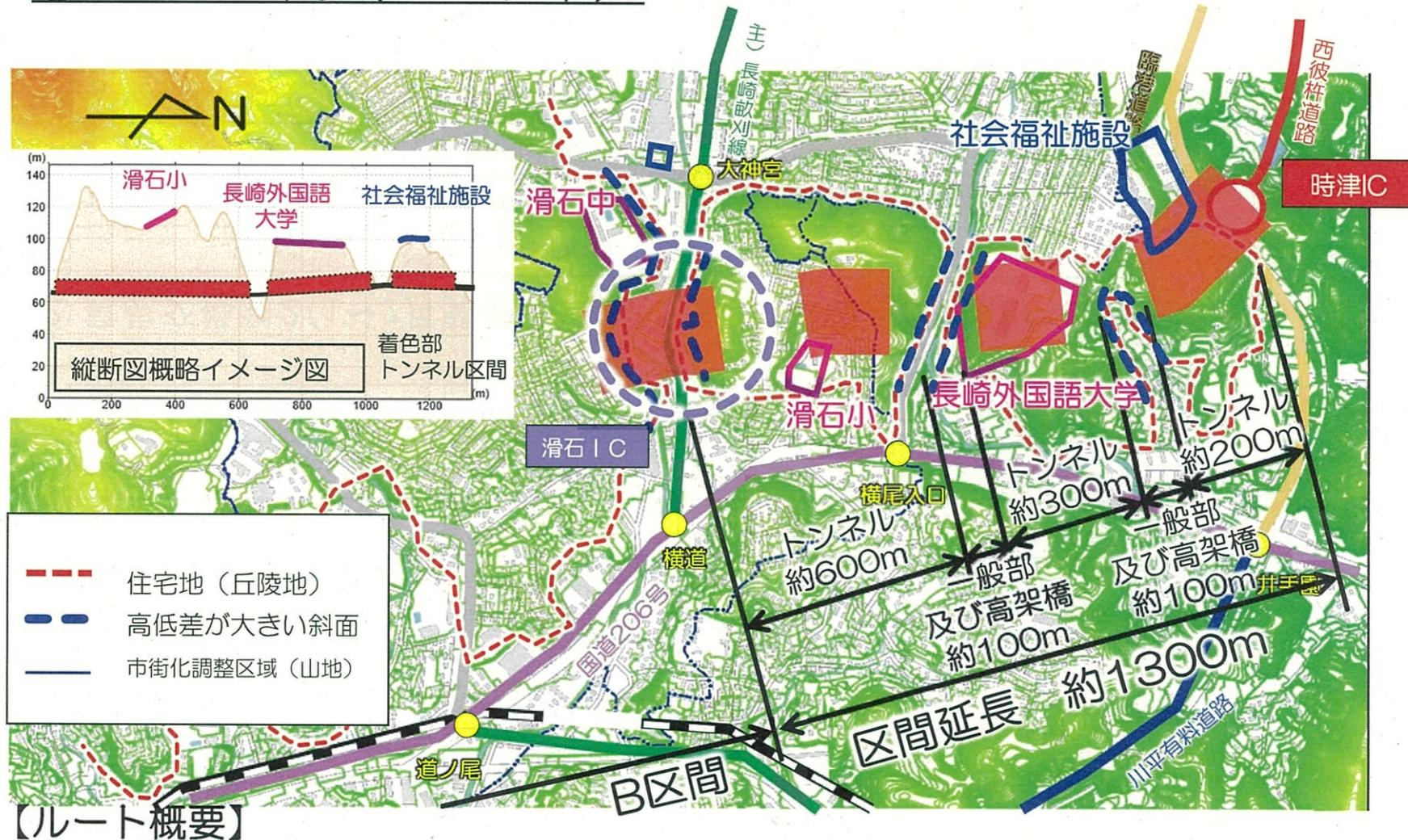
A区間 (茂里町～大橋付近)	平地の区間
B区間 (大橋付近～滑石付近)	丘陵地や山地があり、地形の起伏がある区間
C区間 (滑石付近～時津町野田郷)	丘陵地や山地の区間





## ② 2次選定

### ②-3 C区間 (ルート案)



- 滑石ICと時津ICの間隔は短く、互いの位置はおおむね固定されており、ルート帯が限定されるため、複数ルートの設定や比較検討は行わない
- 滑石小、長崎外国語大学は地下部を通過することで、回避できる

## (4) 地域住民との意見交換会 開催状況

### ① 意見交換会(12月開催分)(主に、広域の方を対象)

日時	開催市町	会場
12/5(木) 19時～	長崎市	アマランス
12/6(金) 19時～	長崎市	県総合福祉センター
12/8(日) 13時30分～	長崎市	県庁
12/13(金) 19時～	時津町	時津町役場
12/14(土) 13時30分～	時津町	時津町役場
12/17(火) 19時～	長崎市	北公民館

### ② 意見交換会2(1～2月開催分)(主に、ルート沿線にお住まいの方を対象)

日時	開催単位	会場
1/27(月) 19時～	西町小校区	緑が丘地区ふれあいセンター
2/5(水) 19時～	西北小校区	西北・岩屋ふれあいセンター
2/12(水) 19時～	城山小校区	淵地区ふれあいセンター
2/13(木) 19時～	虹が丘小校区	虹が丘公民館
2/18(火) 19時～	滑石小校区	滑石公民館
2/21(金) 19時～	北陽小校区	滑石地区ふれあいセンター
2/22(土) 19時～	大園小校区	大園団地集会所

### ③ 意見交換会で出された主な意見

#### ■南北幹線道路の必要性について

- 国道206号の交通渋滞の対策のため、早く進めて欲しい。

#### ■ルート選定（全体）について

- 費用が安く、民間に影響がないルートがいいのではないか。
- 経済性だけでなく、早期完成によるメリット、補償交渉にかかるコスト、景観への配慮など総合的に判断すべきである。

#### ■ルート選定（A区間）について

- 浦上川線（幸町工区）のように、河川の上に道路を通すことができないのか。
- 市街地への影響が大きいため、プール側を通る案がよい。
- プール側を通るルートが、用地買収が少なく、地域への影響が小さく、計画が早く進むのではないか。

#### ■車線数、構造について

- 車線数を2車線でなく4車線にする考えはないのか。
- 2車線だと正面衝突の心配がある。また、低速車への配慮や、あおり運転への対応など、安全快適に走行できるための追越車線の設置が必要ではないか。
- 将来の維持管理（維持補修、電気代等）を踏まえて検討して欲しい。

#### ■滑石ICについて

- 滑石ICは、混雑しない計画としてほしい。立体（高架）とすべきでは。

### ■ I Cの設置（追加）について

- 今回の検討区間では I Cが少ないようだが、茂里町から滑石の間に I Cを設けることはできないのか。
- ルートが市道虹が丘町西町 1 号線に近いのであれば、地区内への交通量が増えるデメリットがあるものの、佐世保へ行くにはメリットがあるため、I Cを作れないか。
- 油木地区に I Cは作ってほしくないが、油木周辺にスポーツ施設があり、I Cがあれば利用しやすいのではないか。
- 道路整備は、沿道開発も目的の一つと考えるが、開口部に I Cを設けて、その周辺の開発を考えないのか。

### ■ 有料化について

- 国の予算が厳しい状況なので、長崎南北幹線道路を有料化し、その費用を事業費に充ててはどうか。早期着工をお願いしたい。
- 有料道路には、絶対しないでほしい。

### ■ 既存道路（有料道路、井手園交差点）について

- 川平有料道路や西山バイパスが無料になれば、国道の渋滞解消にならないだろうか。これらの既存の道路と併せた渋滞解消を検討してもらいたい。
- 西彼杵道路（時津工区）ができた時に井手園交差点が渋滞するのではないか。
- 井手園交差点を立体（高架）にできないのか。

### ■ 既存道路（浦上川線）について

- 高架から梁川橋に下りる道路（ランプ）の渋滞がひどい。なんとかならないのか。
- 浦上川線と国道206号の合流部（下の川橋交差点）の信号制御を工夫することで、渋滞解消ができるのではないか。

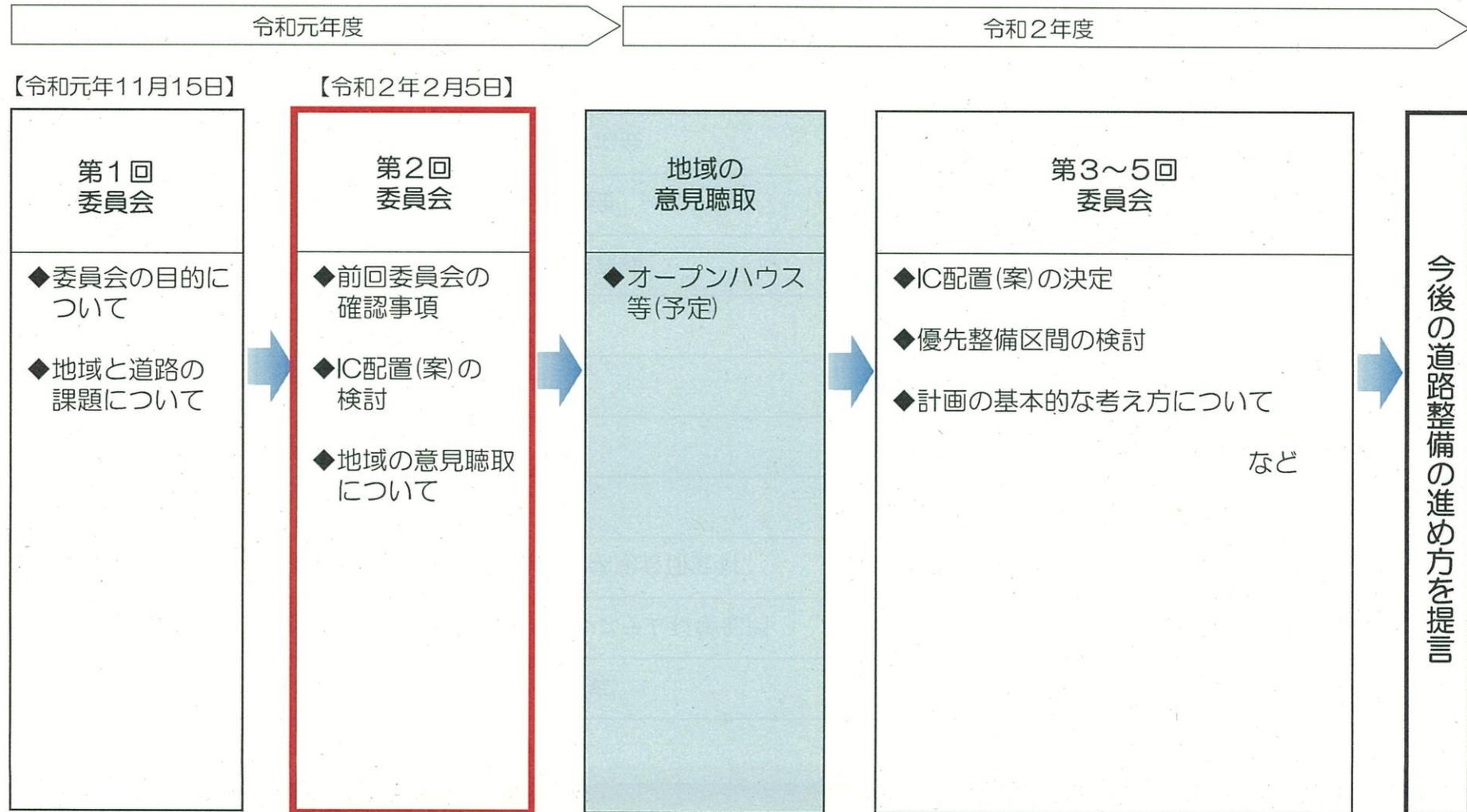
### ■ 地域への影響について

- 南北幹線道路よりも生活道路の整備を優先した方がいいのではないか。
- 市道虹が丘町西町 1 号線はいつできるのか。早く完成してほしい。

## 2. 西彼杵道路

### (1) 西彼杵道路計画検討委員会のスケジュール

#### ◆スケジュール(予定)



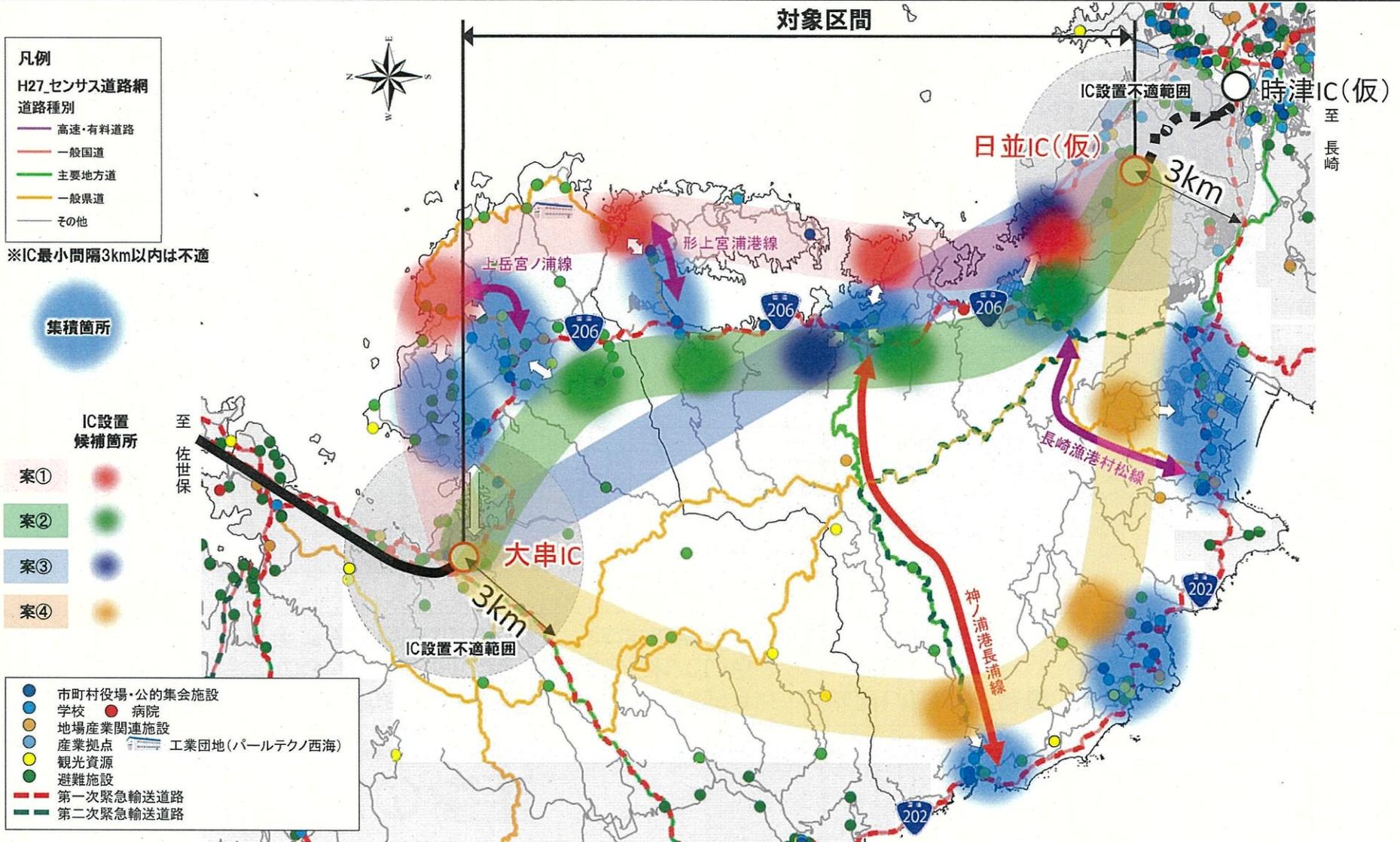
## (2) 委員構成

分野	所属等	役職	氏名
学識経験者	長崎大学大学院工学研究科システム科学部門	教授	中村 聖三
学識経験者	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	准教授	吉田 護
経済	長崎都市経営戦略推進会議	推進役	河西 宏
観光	長崎県観光連盟	専務理事	加藤 一征
商工	長崎県商工会連合会	専務理事	山田 伸裕
農業	JA長崎せいひ営農畜産部	専任部長	松浦 慎吾
水産	長崎魚市株式会社 総務部総務課	課長	山下 祐一郎
運輸	一般社団法人 長崎県バス協会	専務理事	峯 比呂志
運輸	公益社団法人 長崎県トラック協会	専務理事	鶴田 孝廣



# (4) IC配置パターン(案)の検討

- 案①は、大村湾沿い(尾戸半島経由)にインターチェンジを4箇所配置するパターン。
- 案②は、国道206号沿いにインターチェンジを4箇所配置するパターン。
- 案③は、大串IC～日並IC(仮)を最短距離で結び、インターチェンジを2箇所配置するパターン。
- 案④は、西彼杵半島の西岸部沿いにインターチェンジを3箇所配置するパターン。



# (5)意見聴取について

## (2)意見聴取の基本方針

大串IC～日並IC(仮)間のインターチェンジの位置などに対する意見を伺う。

## (3)意見聴取の対象者と方法(案)

対象者・実施方法		
ヒアリング	【自治体】県・関係市町へインタビュー形式でのヒアリング	
	自治体:長崎市、西海市、時津町	3名
オープンハウス	【地域住民】沿線の長崎市、西海市、時津町の行政施設、観光施設、道の駅等にオープンハウスを設置	
	長崎市北総合事務所、西海市役所、時津町役場、長崎バイオパーク、道の駅「さいかい」	5箇所
アンケート	【団体・企業】関係市町の団体・企業へ郵送配布	
	各団体:トラック協会、商工会議所、商工会、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会および市町村が地域代表として推薦いただける地域の活動団体等	約50団体
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	約50企業
【道路利用者】道の駅・観光施設等への常設による実施		

■意見聴取範囲



●オープンハウス予定箇所  
4 6 8  
キロメートル

